

このコーナーでは、皆さんからの「お便り」や「写真」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆お便りは、字数 200 文字以内。写真は、1 枚につき 50 文字以内。(文章は、必要に応じて添削する場合があります)
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載します)を記入の上、伊佐PR課までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
- ◆締切は、毎月 10 日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511
伊佐市大口里2845番地2
伊佐PR課
「和みのひろば」係
☎④4113
✉ koho@city.isa.lg.jp



毎朝、元気に走る山野小児童は、校庭を1周してから熊野神社裏の坂を駆け上っていきます。最近、その坂の入口に真新しく大きな柱が立ち「山野小学校 鍛錬の坂 かけ足コース」と書かれています。山野コミュニティが古く小さな看板をはずし新たに設置したとのことですが、その案内柱は山野小出身で現在福岡で建設会社を営む山元章弘氏が寄贈してくださったとのこと。地域の宝である子どもたちの健やかな成長のために有難いことです。

(山野 F・H 60代)

— 春は恋の季節。彼との『再会』の季節。長かった冬を終え、ようやく暖かい光が差し込んだ時、彼はうんと背伸びをして、私に微笑みかけた。「おはよう、長い間寂しい思いをさせたね…」私の涙をぬぐうゴツゴツの指が愛おしい。これからはずっと一緒に……

見事なしだれ梅、お手入れが行き届いているのがわかります。素敵な春の感じですね。



わが家のしだれ梅。45年で一番美しく咲き誇りました。庭にでる楽しみができて心を和ませてくれます。

(大口 yamamituru 70代)

ペットの陸ガメ(もち)が、啓蟄の日に4月の冬眠から目覚めました。早速好物のレタスをばりばり食べて春の街をお散歩。今年も一緒に桜を見ようね、もち。

(大口 きなこもち 30代)



編集後記

今月から新しい連載が3つスタートしました。生活に密着したマイナンバーは「ニュースで聞くけど何だろう」とお思いの方も多いでしょう。制度についてわかりやすく紹介します。

「人生の年輪」では認知症など年齢を重ねるごとに皆が同じく抱える不安を、少しでも解消できるような情報を提供します。「人生の半分は年寄りだ」と誰かが言っていました。避けられない老いと付き合ひ、共有してつながら。この連載が自分らしく過ごすヒントになればと思います。

そして今年には終戦から70年、記念誌作りのために資料提供や体験談を語ってくださる方も募集中です。学童疎開に関する連載をはじめに読んだ郷土誌には、戦後必死に生きてきた人々の姿が記されていました。その時感じた「忘れてはいけない」という気持ちを後世に残すためにも、今だから読んでもらいたい記事です。



人口のうごき
(住民基本台帳から)

H27. 3. 1 現在 (前月比)

総人口	28,064 人	(- 43)
男	13,009 人	(- 12)
女	15,055 人	(- 31)
世帯数	13,950 世帯	(- 25)